

「未来の世界シリーズ」^{※1}運用残高 1兆円を突破！ ハイクオリティ成長企業に投資し世界経済の成長の恩恵を享受

アセットマネジメントOne株式会社（以下、AM-One）が設定・運用する「未来の世界シリーズ」各ファンドの運用残高合計は、2020年6月24日に約1兆51億円となりました。当ファンドシリーズは、世界の割安と判断されるハイクオリティ成長企業^{※2}に厳選投資を行います。2016年9月に「グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（限定為替ヘッジ）（為替ヘッジなし）愛称：未来の世界」を設定以降、主要投資地域や決算頻度などが異なる7本のファンドをお客さまのニーズにあわせて設定してきました。

当ファンドシリーズは、グローバル投資のコアファンドとして多くの金融機関に実績が評価され、2020年5月末現在合計85社の金融機関にお取り扱いいただいております。モーニングスターアワード『ファンド オブ ザ イヤー2019』において、「未来の世界（新興国）」が最優秀ファンド賞と、「未来の世界（為替ヘッジなし）」が優秀ファンド賞を、また、「未来の世界（為替ヘッジなし）」は『R & I ファンド大賞2020』においても最優秀ファンド賞を受賞しました。

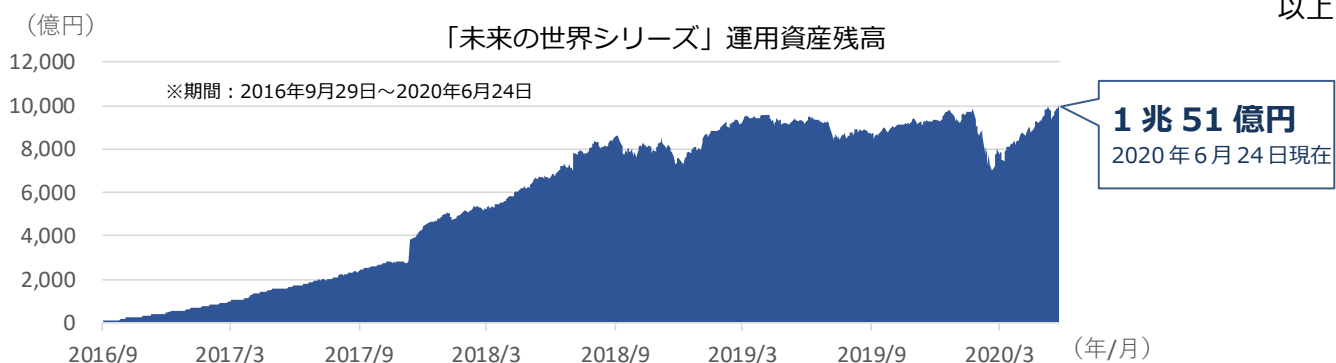
2020年6月22日には、シリーズ8本目として「グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）愛称：未来の世界（ESG）」の募集を開始いたしました。当ファンドは、ESGを投資テーマととらえるのではなく、世界のハイクオリティ成長企業を発掘において重要なポイントの一つにESGを掲げ、積極的なESG（環境・社会・企業統治）の課題への取組みとその課題解決を通じて、持続的に成長が期待できる企業に投資を行います。

AM-Oneはこれからも、資産運用のプロフェッショナルとして投資家の皆さまのニーズに適う商品を適切にご提供していくとともに、「貯蓄から資産形成へ」の流れを確かなものとすべく不断の努力を続けてまいります。

^{※1} 「未来の世界シリーズ」とは、未来の世界（限定為替ヘッジ）、未来の世界（為替ヘッジなし）、未来の世界（年2回決算型、限定為替ヘッジ）、未来の世界（年2回決算型、為替ヘッジなし）、未来の世界（先進国、為替ヘッジあり）、未来の世界（先進国、為替ヘッジなし）、未来の世界（新興国）、未来の世界（ESG）の8ファンドの総称です。

^{※2} 投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業

以上



※上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の留意事項を必ずお読みください。

<「未来の世界シリーズ」 ファンド一覧> 追加型投信／内外／株式

- [グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（限定為替ヘッジ）愛称：未来の世界](#)
 - [グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）愛称：未来の世界](#)
 - [グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（年2回決算型）（限定為替ヘッジ）愛称：未来の世界（年2回決算型）](#)
 - [グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（年2回決算型）（為替ヘッジなし）愛称：未来の世界（年2回決算型）](#)
 - [先進国ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジあり）愛称：未来の世界（先進国）](#)
 - [先進国ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）愛称：未来の世界（先進国）](#)
 - [新興国ハイクオリティ成長株式ファンド 愛称：未来の世界（新興国）](#)
 - [グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）愛称：未来の世界（ESG）](#)
- （2020年7月20日設定予定）



◇「未来の世界シリーズ」 ファンド情報 ◇
<http://www.am-one.co.jp/fund/fundgroup/8/>

◇「未来の世界シリーズ」各ファンドの受賞歴◇

新興国ハイクオリティ成長株式ファンド
 （愛称：未来の世界（新興国））

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド
 （為替ヘッジなし）（愛称：未来の世界）



Morningstar Award
 “Fund of the Year 2019”
 国際株式型（特定地域）部門
 最優秀ファンド賞



Morningstar Award
 “Fund of the Year 2019”
 国際株式型（グローバル）部門
 優秀ファンド賞



R & I ファンド大賞2020
 投資信託部門/外国株式
 最優秀ファンド賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型（グローバル）部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド 546本の中から選考されました。国際株式型（特定地域）部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド 719本の中から選考されました。

「R&I ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託部門」では2018、2019、2020年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2020年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。

【ファンドの費用】

【ご購入時】 購入時手数料:購入価額に 3.3% (税抜 3.0%) を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額。

【ご換金時】 信託財産留保額:換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額

【スイッチング手数料 (未来の世界 (新興国) と未来の世界 (ESG) は除く)】 スwitching時の購入価額に 3.3% (税抜 3.0%) を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た額 ※スイッチングの際には、換金時と同様の費用、税金がかかります。

【保有期間中 (信託財産から間接的にご負担いただきます)】 運用管理費用 (信託報酬): ファンドの日々の純資産総額に対して、未来の世界 (ESG) は 年率 1.848% (税抜 1.68%)、その他各ファンドは 年率 1.87% (税抜 1.70%)

その他の費用・手数料:組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。(その他の費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳細については投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

【ファンドの投資リスク】

基準価額の変動要因 ※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。詳細については投資信託説明書 (交付目論見書) をご確認ください。

■ 株価変動リスク ■ 業種および個別銘柄選択リスク* ■ 為替変動リスク ■ カントリーリスク
■ 信用リスク ■ 流動性リスク

*「未来の世界」および「未来の世界 (年2回決算型)」のみのリスクです。

各ファンドは、値動きのある有価証券等 (外貨建資産には為替変動リスクもあります。) に投資しますので、株式市場の変動、業種および個別銘柄の選択による株式市場全体の動向との乖離、為替相場の変動、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等 (新興国の経済状況は、先進国と比較して一般的に脆弱である可能性があり、これらの変化が株式市場、為替相場におよぼす影響はより大きくなると予想されます。)、組入有価証券の発行者にかかる信用状況の変化、市場に十分な需要や供給がないため取引を行えないまたは取引が不可能となること等により、組み入れた有価証券等の価格が下落し、基準価額が下落する要因となります (為替ヘッジ取引を行うファンドでは為替リスクの低減をめざしますが、為替リスクを完全に排除できるものではありません。)。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

【ご注意事項】

- ・ 当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が作成したものです。
- ・ 当資料は、アセットマネジメント One 株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ お申込みに際しては、販売会社からお渡する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を必ずご確認ください。
- ・ 当資料における内容は作成時点(2020年6月24日)のものであり今後予告なく変更される場合があります。
- ・ 投資信託は
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社および新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約55兆円（2019年12月末時点）とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

H P : <http://www.am-one.co.jp/>

商 号 等 : アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会